

教育 子午線

Kyoiku-Shigosen

June, 2014
vol.35



国立大学法人
兵庫教育大学

◎教育最前線
子どもの体力



◎研究レポート
前芝武史

教育学部美術科における
領域横断的授業「具象表現」の構想
— 絵画・彫塑領域から —

◎ワタシのイチオシ

◎うれしの交差点

運動時間の二極化が進む

文部科学省が毎年発表している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、小・中学生の走・跳・投といった基礎的な運動能力や筋力は昭和60（1985）年前後をピークに低下の傾向にあります。さらに、柔軟性や敏しょう性など体をコントロールする能力も低下しています。

また、運動時間が二極化しており、昨年度のデータではさらに進んでいます。1週間の総運動時間（体育の授業以外）が「60分未満」と答えた割合は小学5年生男子9%、女子21%、中学2年生では男子10%、女子30%でした。とりわけ二極化が目立つのが女子中学生で、部活動などで運動を毎日する生徒とそうでない生徒では、はつきり分かれるようです。当然ながら、運動時間が少ない児童生徒は体力テストの合計点も低い結果になっています。

体力低下が心身に及ぼす影響

体力・運動能力が低下し、運動量が著しく減少してしまった現在

子どもたちにはさまざまな問題が生じています。例えば、顔の擦り傷や切り傷、手首の骨折といったけがが多くなっています。その理由として、遊びや運動の経験が少ないため転び方を知らずに大きくなり、自分の体をコントロールできない、動きの不器用な子どもが増えてきているからです。

また、文部科学省の「学校保健統計調査報告書」によると、肥満傾向にある小学6年生は男女共に30年前の3倍に増えています。一方、痩せ過ぎの子どもも年々増加しています。同様に、痩せ傾向の中学1年生は男女共、30年前の2〜3倍に増えています。肥満は生活習慣病と関係する大きな問題です。しかし、成長期の無理なダイエットもまた、体調を崩したり、大人になつてから健康に支障を来したりするといわれています。

遊び時間の減少も要因の一つ

体力低下の直接的原因は、生活の中で体を動かす「身体活動」の低下にあると捉えられています。

身体活動量が十分に保たれていれば体力低下は防げ、逆に体力が向上することは多くの研究デー

タが証明しています。では、子どもたちの身体活動量はなぜ低下したのでしょうか。

このことには子どもの運動と遊びの時間の減少が大きく関わっています。子どもが楽しく遊ぶためには、時間・空間・仲間の三つの「間」が必要です。今の小学生の放課後の遊び時間は約50分で、しかも屋外で遊んでいる子どもはわずかです。さらに遊び仲間が限定されており、塾や習い事のない日は家の中に閉じこもって体を動かすことなく、携帯電話やインターネットなどに夢中になっています。

このような子どもの生活環境の変化や生活習慣の変容の原因は、利便さや効率化を追求してきた私たち大人がつくり上げた、現代社会のライフスタイルそのものにあるといえます。子どもたちは体力低下のみならず、ライフスタイルも乱れ、心身にさまざまな問題を抱えてしまっているのです。

楽しみながら体を動かすことが大切

文部科学省は女子中学生の運動時間を増やす取り組みのポイントとして、①保健体育授業の充実

の 体 力

子どもの体力低下の問題が指摘されて久しいですが、その傾向に歯止めはかかっていません。問題の背景には子どもの生活環境の変化や生活習慣の変容が挙げられており、体力アップに向けて学校だけでなく、家庭や地域も一体となって取り組んでいく必要があります。



かみ はら よし ひろ
上原 禎弘
行動開発系教育コース准教授

【表】A市児童体力・運動能力調査結果

項目	要素(副要素)	小5男子			小5女子		
		H21	H22	H23	H21	H22	H23
握力	筋力	●	●	●	●	●	●
上体起こし	筋持久力 (筋力・瞬発力)	▼	●	▼	▼	▼	▼
長座体前屈	柔軟性	●	●	●	●	●	●
反復横跳び	敏しょう性 (筋持久力)	●	●	▼	●	▼	▼
シャトルラン・ 持久走	全身持久力 (筋持久力)	▼	●	●	▼	●	▼
50m走	瞬発力(敏しょう性・ 筋力・柔軟性)	●	●	●	●	●	●
立ち幅跳び	瞬発力 (筋力・柔軟性)	◎	●	◎	●	●	◎
ボール投げ	瞬発力 (筋力・柔軟性)	●	●	●	●	●	●

◎…全国平均を上回る ●…全国平均と同程度 ▼…全国平均を下回る

【男子】

- ▶立ち幅跳び(瞬発力)が全国平均を上回っている
- ▶上体起こし(筋持久力)、反復横跳び(敏しょう性)が全国平均を下回っており、課題がある

【女子】

- ▶長座体前屈(柔軟性)が全国平均を若干上回っている
- ▶上体起こし(筋持久力)、反復横跳び(敏しょう性)、シャトルラン(全身持久力)が全国平均を下回っており、課題がある

②運動部活動の工夫③自分の体と向き合い、生活習慣を見直す機会の提供④仲間の励まし、周囲の大人の励まし⑤体力測定の実用を挙げます【表】。

また、あの手この手で子どもが運動する機会を増やそう、体力を高めようとしている学校や教育委員会の実践例をみてみると、「楽しみながら体を動かすこと」がキーになっているのは明らかです。学校や家庭、地域が連携し、子どもたちが楽しく運動する機会を持ち、体力向上に取り組んでいくことが重要になります。

*身体活動…運動だけでなく、日常生活で体を動かすことの全てを指す。家事や労働をはじめ、趣味、レジャー、ボランティア活動なども身体活動の対象と捉えられている。

子ども



わが子の 体力アップに向け 何をすれば いいか

「子どもの時の運動は一生の身体をつくる」と言われます。「体力」は人生の基盤であり、「体力」があって初めて「学力」は長い人生に活かされます。子どもの体力向上には保護者の関わりが欠かせません。「わが子の運動との付き合い方」はどのタイプかを知り、家族で体力向上に取り組みましょう。



つ つ い し げ き
筒井茂喜

小学校教員養成特別コース准教授

遊び時間は

- ① 毎日60分以上
- ② 週2、3日で各60分以上
- ③ ほとんど遊ばない

子どもの年齢は

- ① 8歳以下
- ② 9歳～12歳
- ③ 13歳以上

体を動かす時間は

(お手伝いや階段の
上り下りなども含む)

- ① 毎日60分以上
- ② 週2、3日で各60分以上
- ③ ほとんど動かさない

1週間の 運動時間は

- ① 420分以上
- ② 60分以上420分未満
- ③ 60分未満

学校現場の実践例

運動に親しむには いかに夢中にさせるかが大切



↑ 昨年の「うれしのカーニバル」



よ し た た か あ き
吉田崇朗さん

兵庫教育大学附属小学校教諭

体育の学習では、子どもたちを「単元」で育てるということを大切にしています。「この単元が終わるころにはこうなっていてほしい」という目標を明確に持ち、そこから逆算して授業を計画します。そうすることで一つ一つの指導が意図的になり、結果、子どもが「できる」喜びを感じられるようになります。

附属小学校では毎年9月に運動会「うれしのカーニバル」を開催しています。子どもたちは縦割りで赤、黄、青の3組に分かれ、優勝を目指して運動に「夢中」になり、歓喜の声を上げ、時に涙を見せます。このような子どもの姿が表出される背景の一つに、6月から始まる「うれしのスポーツ」があります。

うれしのスポーツは3組で綱引き、大玉運びリレー、玉入れを競い合うもので、その結果がカーニバルの持ち点に反映されます。勝つためのコツを6年生が下の学年に教える活動を取り入れることで、「勝ち」にこだわる雰囲気がつくられるとともに、ライバルと競い合う「楽しさ」が生まれ、相手を尊重する心が育まれます。これからも、「夢中」になるからこそ感じる「楽しさ」を子どもたちに経験させていきたいです。

幼児期～児童期前半 (5歳頃～8歳頃)

神経系の発達が著しく、「動きの巧みさ(上手に体を動かす力)」「力の加減(上手に力をコントロールする)」を身に付けるのに適した時期といえます。この時期は特定の遊びや運動に偏るよりも、いろいろな遊びや運動を通して体を動かす楽しさを感じさせ、多様な動きができるようにすることが大切です。また、遊びや運動から得る成功体験によって何事にも意欲的に取り組む態度が、友達との「群れ遊び」によって人との協調性が養われます。

I型

体を動かすことが楽しく、いろいろな遊びに親しんでいると思われます。これからも、友達との「群れ遊び」を楽しめる時間、場所を確保して、さまざまな動き方が身に付く環境を与えてあげましょう。

II型

活動量がやや不足気味または特定の遊びや運動に偏っているようです。特定の動きばかりを繰り返すのではなく、さまざまな動き方を身に付けることが大切です。「群れ遊び」を楽しむ機会を増やしましょう。

III型

家のお手伝いや保護者との外出など、体を動かす機会を増やすとともに、保護者と楽しく体を動かす時間をつくりましょう。新聞紙を使った紙風船遊びなど、身近な物を使っても楽しく遊べることを伝えましょう。

遊び方は

- 1 友達といろいろな遊びをする
- 2 習い事(スイミングなど)以外はあまり遊ばない

体の動かし方は

- 1 友達との遊びや習い事
- 2 習い事以外はあまり動かさない

生活習慣は

- 1 毎日朝食を摂り、睡眠時間は8時間以上
- 2 朝食を抜くことがあり、睡眠時間は8時間未満

家族のスポーツへの関心は

- 1 家族でスポーツについて話したり、観たりする
- 2 家族でスポーツを楽しむことは少ない

運動への取り組み方は

- 1 目標を設定し、自発的に取り組んでいる
- 2 何となく取り組んでいる

生活習慣は

- 1 毎日朝食を摂り、睡眠時間は6～8時間
- 2 朝食を抜くことがあり、睡眠時間は6時間未満

家族のスポーツへの関心は

- 1 家族でスポーツについて話したり、観たりする
- 2 家族でスポーツについて話したり、観たりすることは少ない

児童期後半 (9歳頃～12歳頃)

身長、体重が比較的安定して発育します。幼児期からの神経系の発達がほぼ完成し、児童期前半までに身に付けた動きから「力み」「無駄な動き」が取り除かれ、滑らかで洗練された動きに高まっています。また、決められたルールの中で技能を競い合ったり、難しい技術や動きを習得したりすることに喜びを感じます。自分の目標を設定し、それに向けた努力ができるようになります。

IV型

運動する喜びを感じ、運動の習慣が身に付いているようです。まだこの時期は、特定の運動に偏るよりも複数の運動に親しむ方が好ましいといえます。例え、一つの運動でも、その中で多様な動きができるようにしましょう。

V型

活動量がやや不足気味または運動の種目が少し偏っているようです。さまざまな運動に親しめるよう、友達と遊ぶ時間と場所を整えてあげましょう。スポーツ観戦など、家庭で運動やスポーツに触れる機会を増やしましょう。

VI型

生活習慣がやや乱れ、活動量も不足気味のようです。「朝食抜き」「睡眠不足」は体力を低下させるとわれています。毎日朝食を摂り、8時間以上の睡眠を取るようにしましょう。休日は親子で一緒に朝食を作ってみてはいかがでしょうか。

中学生期 (13歳頃～15歳頃)

ホルモンの分泌が著しく増加し、呼吸器・循環器系の発達に加え、骨格筋系の急速な発達を迎えます。持久力が向上し、瞬発系の筋肉が発達することで、児童期に身に付けた動きがよりスピーディーに、長時間続けてできるようになります。自分の技能、能力を客観的に分析し、自己の目標達成に向けて練習内容を考え、根気強く努力できるようになります。また、生涯スポーツに向けた、専門とする種目を選択する時期でもあります。

VII型

運動への関心が高く、目標を設定して取り組んでいると思われます。ただ、身長の発育が著しいこの時期、過度のウエイトトレーニングは骨の成長を抑制し、変形を招く恐れがあります。トレーニングは持続的な要素を多く含んだものにし、パワフルな動きは身長の発育が終わってから身に付けましょう。

VIII型

体力テストの結果を基に、どの体力要素をどのくらい高めればいいのかを考えるなど、目標を決めて運動に取り組んでみましょう。また、クラブ日誌など自分の技能、体力の向上を記録し、日々の練習方法を考えてみましょう。

IX型

ネットやゲーム等の時間を1日3時間以内にし、睡眠に6～8時間は充てましょう。毎日、朝食をしっかり摂り、基本的な生活習慣を確立することが大切です。休日は家族でウォーキングやレクリエーション的なスポーツで汗を流しては。スポーツ観戦もいいでしょう。



まえ しば たけ し 文化表現系教育コース
前芝武史 [芸術系教育分野(美術)]・
小学校教員養成特別コース准教授



はつ だ か し 文化表現系教育コース
初田隆 [芸術系教育分野(美術)]・
小学校教員養成特別コース教授

共同
研究者

あき う み ま ゆ り 文化表現系教育コース
浅海真弓 [芸術系教育分野(美術)]准教授

このページでは日本学術振興会の科学研究費助成事業で採択された研究を紹介し、同助成事業は、全ての分野の「学術研究」を段階的に発展させることを目的に、独自の・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基礎研究、挑戦的萌芽研究、若手研究などに分かれており、挑戦的萌芽研究は1人または複数の研究者が共同で行う研究生期の研究が対象。研究期間は3～5年です。

教育学部美術科における領域横断的授業 「具象表現」の構想 — 絵画・彫塑領域から —

(平成23～25年度科学研究費助成事業・挑戦的萌芽研究に採択)

現代の美術は驚くべき多様化を極め、それに伴い美術教育も次々と変化しています。そんな中、造形力重視の考えは後退、昨今では造形を苦手とする子どもが増加し、美術とは何か、図工・美術とはどんな教科かという議論が増えてきました。

本研究では古来、絵画・彫塑をまたぐ「具象的表現」をテーマとした授業科目を構想することで、その内容・教育的意義、基礎事項等を見いだしたいと考え、次の約20時間のモデル授業の構想、実践、検証を行いました。

- ① トレーニング—塊の構築—
- ② トレーニング—把握—
- ③ 記憶と再現
- ④ 都市を作る・描く
- ⑤ 人体の美と構造
- ⑥ 講義「具象」
- ⑦ 絵画・彫塑—具象実技—

①では彫刻もデッサンも本質は塊の構築にあるという表裏性に着目、紙面デッサンか

ら彫刻へ、またその逆へと、この本質が往還的に学べるようにしました。②では物体の寸法、位置、方向、断面の形状把握等の能力向上のトレーニングを考案。③では描写・再現と記憶の関わりをテーマとしました。④では彫塑の姉妹たる建築や環境デザインの初歩学習を含ませた討議を交

え、塊を操作して箱庭で都市を構想させ、その内容をデッサンさせました。⑤では人体の骨格標本と粘土での美術解剖学の授業を考案。⑥では諸芸術の比較、歴史の変遷や多様性、人間の成長や現代の教育的課題等と照合した講義を各領域から行いました。⑦では人物モデルを用い、絵



↑「⑤人体の美と構造」では、粘土を使って人体の解剖学を演習しました



↑「④都市を作る・描く」では、いずれの取り組みも平面・立体の造形を往還させました



↑「ダウインチの素描には構造と設計がうかがえます」

画と彫塑の相互補完性に着目、双方の制作に取り組みました。

具象やデッサンは技術よりも、ものの見方、考え方を学ぶことです。万物の仕組みを見て、作品設計を考え、自由や可能性を見る一方、秩序や原理・法則を知る必要があります。巨視／微視的に見た

り、多面的に見たり、時に視点を変えるほか、構造／体系／関係で事象や作品を考えます。また、客観と主観・直観を往還整理し、事象を深く感取(感性)し、空間芸術たる本質に精通(悟性)し、どう感じさせるか思考工夫を凝らし、あなればこうなる、こうすればあなると造形的に操作・思考(理性)し、課題解決への妥当性のあるスムーズな道筋を多角的に考えます。さらに古今東西を知り、常に自他を客観し、そして諸科学、あるいは全人的人間形成との蜜月同化を図り、一層の展開を得るといえるものです。本研究を通し、当領域の内容的な基礎体系や基本事項、教育的価値・位置付け等が一層明確になりました。

幼年教育の必須教材

ドイツの教育者、フレーベルが1838年に考案した「恩物」と呼ばれる教育的遊具は、保育カリキュラムを研究する上で欠かせないアイテム。積み木の原形に当たり、さまざまな形のパーツが子どもの創造力を育むのに効果的という。「授業では昔の遊び方を紹介するとともに、学生たちに自分ならどのように使うかを考えさせます」



スナフキンでティータイム

研究室の書棚には、学生からプレゼントされたコーヒーカップがいくつも並ぶ。花柄が多いのは、「私がシンプルなデザインを好むので、もっと女性っぽい物も使ってほしい」という意味があるようです。ちなみに一番のお気に入りには花柄ではなく、スナフキンのカップ。ニヒルなたたずまいに引かれるそうだ。



父の溺愛でメタボ気味の犬

いつもバッグに入れているのが、妹の家で飼っているトイプードルとポメラニアンの写真。妹と同居する90歳の父は2匹にメロメロという。「昔は室内犬が嫌いだったのに、今はかわいくて仕方がないようです。餌以外にも食べ物を与えているらしく、「帰省するたびに2匹とも丸くなって、抱きかかえるとずしりと重いです」。



先生に質問!

愛読のきっかけは転倒

推理小説が好き。最近愛読している松岡圭祐の作品との出会いは2年前、実習先の幼稚園で竹馬から落ちて股関節を骨折した際、妹が差し入れてくれたのがきっかけ。「入院中はすることがないからずっと読んでいました。今では新刊が出るたびに買っています」



エアバッグ付きの椅子

「腰にやさしい椅子がないから?」と研究支援課にリクエストし、今年3月に研究室に入れてもらった。背もたれの腰が当たる部分に付いたエアバッグに、骨盤の位置を安定させる機能があるとか。「おかげで長時間のデスクワークもずいぶん楽になりました」と大満足の様子。



はしかわきみよ 橋川喜美代 教授 幼年教育コース

大阪府出身。昭和50(1975)年、大阪教育大学を卒業。平成9(1997)年、大阪市立大学博士課程前期修了。上越教育大学講師、鳴門教育大学教授などを経て、23(2011)年から現職。主な研究分野は保育カリキュラム。幼稚園や保育所、認定こども園の保育形態を考察し、乳幼児期にふさわしい生活環境について研究している。授業は「幼児教育課程・保育計画論」(学部)、「幼年期のカリキュラム論と保育・教育方法」(修士課程)などを担当。

A 学生たちが子どもと遊んでいる様子を見ると、型にはまっていると言っか、みんな同じような遊びをしています。常日頃から子どものことを意識しながら、さまざまなものに触れることで、保育者としての引き出しが増え、個性が磨かれていくと思います。

Q 保育の道に進みたいと考えている学生にアドバイスは?

A 教育の質が高いレベルで一定することが挙げられます。幼稚園では園児が帰った後に園内研修をしますが、保育所は保育時間が長いので、幼稚園ほど十分に時間を取れません。しかし、幼稚園と保育所が合併してきた認定こども園ならば、保育者が増えることで、研修の機会が平等に与えられるようになります。

Q 認定こども園が教育面にもたらすメリットは?

A 長年、保育カリキュラムを研究してきた、両親が共働きかどうかで幼稚園か保育所に振り分けるのではなく、地域の同年代の子どもは同じ場所で保育を受けるのが理想的だという考えに行き着きました。ですから、平成18(2006)年の認定こども園制度のスタートはとても喜ばしいことでした。幼保一体化を進める自治体の依頼で、今年度から幼稚園教諭と保育士に対して講師を務めており、幼稚園、保育所双方での実地研修などを指導しています。

Q 先生は認定こども園の設置を推奨されていると聞きます。



いの や えひろし
猪八重寛さん

鹿児島県立出水高校教諭

鹿児島県出身。平成元(1989)年に鹿児島大学を卒業後、鹿児島県の公立高校の教諭に。平成19(2007)年、修士課程言語学コース(国語分野)に入学。修了後、現任校に着任。今年度は進路指導に携わっている。



たわらはら まさ ひと
俵原正仁さん

芦屋市立打出浜小学校教頭

西宮市出身。昭和61(1986)年、学校教育学部自然系コースを卒業後、佐用郡の公立小学校に勤務。平成元(1989)年に勤務地を芦屋市に移す。近著に「プロ教師のクラスがうまくいく「叱らない」指導術」(学陽書房)。

→放課後に古典の個別指導をする「ともあります」



→先日、2年生の国語の授業をしました



専門外の分野も学び “知の森”の探索を

鹿 鹿児島県の公立高校に20年ほど勤務した後、県の派遣研修生として兵教大の大学院に入学しました。教員経験を経ての学生生活では、教科面での専門的な知識やさまざまな教育シーンでの実践的な対応などを学ぶことができました。

在学生の皆さんには、専門の教科や学問を深めるのももちろん、専門外の分野もできる限り学ぶことをお勧めしますが、近代文学を専攻しましたが、英文学や言語学、身体表現などの授業も受けることで、知らなかった世界や発想を知ることができました。これまでの自分がいかに狭い視野で物事を考えていたかを痛感しました。

人は幼いころにさまざまな味を経験しているほど、味覚が繊細になるといいます。教員を目指す皆さんも大学や大学院で、知の森を探索し、より広く深みのある知の枠組みを習得し、この世界の切り取り方を児童生徒に還元していただきたいと思います。

草を見ずして草をとる 教育のプロ中のプロに

昔 の格言に次のようなものがあります。「下農は、草を見て草をとらず。中農は、草を見て草をとる。上農は、草を見ずして草をとる」この言葉は「アマチュア以下の者は畑に雑草が生えてくるのを見ても抜き取るうとしないが、プロ中のプロともなると前もって雑草が生えないような方策を取る」ということを意味します。

これを教育現場に例えると、アマチュア以下の教員は「目の前でいじめられている子がいるのに叱らない」ということになりませぬ。プロの教員たる者は「普段からいじめが起きないように学級づくりをしておく」ということをしなければいけないのです。

当然、兵教生の皆さんはプロ中のプロを目指していることと思います。そのためにも大学でしっかり学び遊んで、教員としての土台をしっかり育ててくださいね。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第34回大学院同窓会総会・研究大会in山口の開催

大学院同窓会総会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は山口県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

◎開催日 8月9日④・10日⑤

◎会場 セントコア山口(山口市)

◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表講演(講師:加治佐哲也学長、上田俊成松陰神社宮司) 松下村塾、萩明倫館などの見学

そしりょうた 曾 雌 竜 太 さん

学校教育学部
言語系コース4年

平成4(1992)年、愛知県生まれ。3歳からサッカーを始め、高校3年生の時にはインターハイに出場した。1浪後の23(2011)年に入学。NPO法人生涯学習サポート兵庫のボランティアスタッフ、兵庫冒険教育のファシリテーターなどを務め、学内でも昨春から教育について語り合う場「教育ビルド」を始めた。



↑水曜20:00から附属図書館で開催。学部生も院生も自由に参加できる

「教育大学ですから、学びを高め合う機会はもっと必要だと思ったのです」
教育について語り合う場「教育ビルド」を主宰して1年になる。「議論を積み重ねる」という意味で名付けた会は水曜夜、附属図書館で開催。議論のテーマは前もって設定せず、当日に決めるのがルールだという。

「授業や実習で学んだこと、気になったことなどタイムリーな話題を選ぶようにしています」

これまでに採用されたテーマは「保護者対応」「左利きの子どもへの配慮」など具体的な課題から、「教育とは何か」といった概念的なものまで幅広い。「回を重ねるごとに参加者が増えてきました。みんなの発言を聞き、こんな考え方もあるのかと、ハッとさせられる瞬間が一番楽しいですね」

3歳からサッカーを始め、高校時代にはインターハイに出場。しかし、強豪大学への進学はかなわず、兵教大に入学後は教育関係のボランティア

に従事し、学内でも「好きな本を紹介し合う会」や、課外活動に取り組む学生を集めた「情報交換交流会」などを開いてきた。

「サッカーをやめるのは大きな決断でしたが、兵教大では4年間を学びに関する活動に充てた方が得るものは大きいだろうという結論に至りました」

教育ビルドが自身の過去の学内活動と異なるのは、仲間と一緒に立ち上げたことだ。「自分が抜けても継続できるものにしたかったのです。僕たちの代が卒業した後は、後輩が語り合う場を引き継いでくれたら」と願う。

学生の研究や活動の発信を目的に教材文化資料館で開催中の「自分展」に教育ビルドのブースを出展。学内の認知度もさらに高まってきた。7月には教員採用試験前の一区切りとして、50人規模の教育ビルドを計画している。「初めての人にも参加してもらいたいです。さまざまな意見が飛び交い、新たな発見を得られるのを楽しみにしています」

みんなで 教育について 語り合い 学びを高めたい

キラリな人 SHINY PERSON



- 第21回テーマ 今週の学びを5分間で伝えよう
- 第20回テーマ 教育ビルドの振り返り
- 第19回テーマ 感想をどのような視点からみていくか
- 第18回テーマ 要領がいつてなに
- 第17回テーマ 企画をしよう
- 第16回テーマ 教育ビルドを紹介するには?
- 第15回テーマ 学びとはなにか?
- 第14回テーマ 模擬授業 教育ファシリテーターについて
- 第13回テーマ 食育について
- 第12回テーマ 10分
- 第11回テーマ 実践れという書
- 第10回テーマ 実習の振り返り
- 第9回テーマ 保護者対応
- 第8回テーマ 人間関係の構築
- 第7回テーマ
- 第6回テーマ
- 第5回テーマ 夏休みの振り返り
- 第4回テーマ 自分を知ろう・他己分析
- 第3回テーマ 学級開きについて考える
- 第2回テーマ コミュニケーションについて考えるワークショップ
- 兵庫教育

を自分たちで

27人(男)

毎週水曜夜
附属図書館

21歳

対話やワークショップなどの活動を行っています。外部から現職の先生を招くなど様々な立場から教育

たからです。

豊富な「経験」という財産を手に入れることができる。何をどう使うかは自分次第だと思うからこそ、社会

を高めたいです。

～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

親友とのつながり

親密になる理由は
ライフスタイルにあり

「親友はどのような関係の人か」を調査したところ、学部生は「課外活動の仲間」(64%)、「寮や下宿の仲間」(64%)が高く、「ゼミナールや研究室の仲間」(22%)は低い。この結果は、学部生のライフスタイルを色濃く反映しており、クラブやサークル活動、寄宿下宿生活でのつながりから仲が深まるようだ。

一方、大学院生は「ゼミナールや研究室の仲間」(79%)がダントツで、次位の「寮や下宿の仲間」(30%)とは50ポイント近い開きがある。こちらは研究活動を通して交友を育むケースが多いといえる。

出身地が近いのは
心強い共通点

大学院という未知の世界に少し不安を抱いていた入学当初、どちらからともなく声を掛け、同じ中国地方出身(原田:山口県、高濱:鳥取県)ということで緊張がふっと和らいだのを覚えています。上級生が開いてくれた歓迎会で話した時、互いの経歴でつながっている部分があると分かり、一気に仲良くなりました。今では自主的な学びのパートナーとして、かけがえのない存在です。

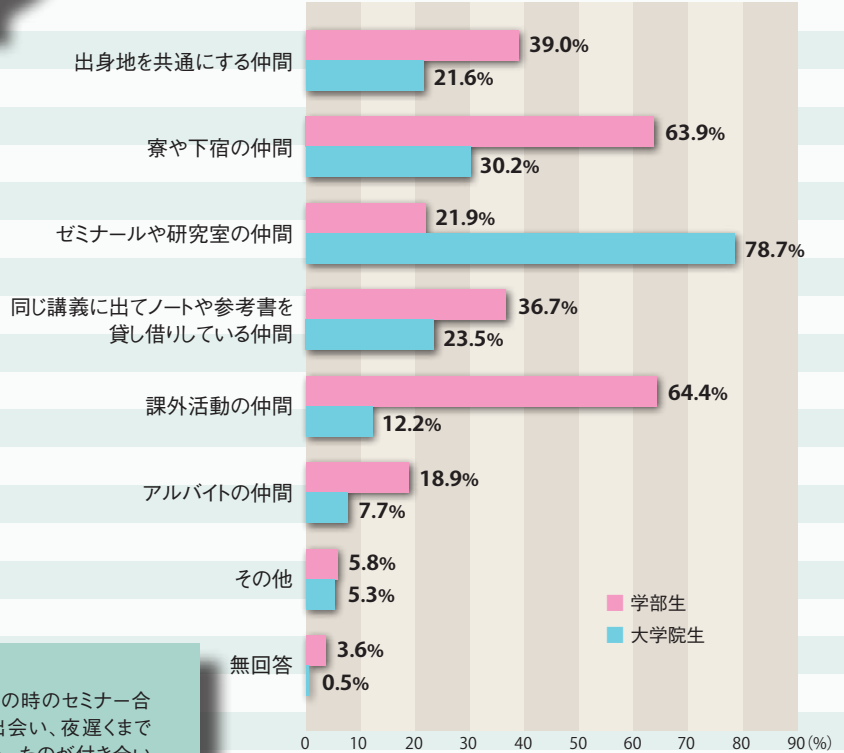


はら たかし
原田隆史さん
大学院
専門職学位課程
学校経営コース2年

たか はま よし ひこ
高濱禎彦さん
大学院
専門職学位課程
学校経営コース2年

親友はどのような関係の人か(複数回答可)

※学内に親しい友達がいると回答した者のみ



趣味や嗜好が
似た者同士

私たちは寄宿舎の歓迎会で知り合い、仲良くなりました。休日は三田のアウトレットで買い物したり、京都へ遊びに行ったりと楽しく過ごしています。趣味や嗜好に共通点が多く、一緒にいると新しい発見がたくさんあり、とても面白いです。また、どちらかが風邪をひいて寝込んだ時には、もう一人が食べ物を買いに行くようにしています。勉強のことも恋愛のことも、何でも腹を割って話せます。



はし もと さ なみ
橋本紗波さん
大学院修士課程
臨床心理学コース1年

から さ わ し す か
唐澤志瑞香さん
大学院修士課程
文化表現系教育コース
[芸術系教育分野(音楽)]1年

1年生の時のセミナー合宿で出会い、夜遅くまで語り合ったのが付き合いの始まりです。キャンパスでは授業や食事など行動を共にし、寄宿舎に戻ってからどちらかの部屋でゲームをして遊んでいます。睡眠以外のほとんどの時間は一緒にいるような感じですが、もちろん、勉強の面でも刺激し合い、また、相談相手としても最も信頼できる存在です。

遊びも勉強も
最良のパートナー



ばん どう ひろ き
坂東宏紀さん
学校教育学部
社会系コース4年

あずま こう き
東航生さん
学校教育学部
言語系コース4年

MUSIC

MOVIE

外国人とは思えない 美しい日本語の発音に驚きです

美しい日本語の発音に驚きです。最近、日本のバラエティー番組のカラオケバトルでも圧倒的な歌唱力を見せています。ぜひ聞いてみてください。

美 美しいハイトーンボイスで、台湾のスーザン・ボイルの異名を取るリン・ユーチュン。カバーアルバム「Ballad Show」の中で、特にお薦めの「First Love」です。



ふじ わりょう じ
藤原涼二さん
学校教育学部
生活・健康系コース4年



リン・ユーチュン
「Ballad Show」
発売元/ユニバーサルミュージック合同会社

楽しい前半から一変 後半は胸を打たれます

古 い家の床下に暮らす小人一家を描いたジブリ作品。暮らしに必要な物は人間の家から借りてくる小人の少女、アリエッティは好奇心と伸びやかな感性を持ち合わせています。人間の少年と心を通い合わせても、生きるために小人一家は旅立たなければなりません。前半の自給自足で生きる楽しさ、後半の絶滅の危機に瀕する小人たちの哀れさが対照的に描かれています。借り暮らしの小人の姿は、自然と共に生きる人間本来の在り方を思わせ、現代人の欲望優先の生活ぶりを見つめ直させます。



おう げつ
王月さん(中国)
大学院修士課程
文化表現系教育コース
[言語系教育分野(国語)]1年



借りぐらしのアリエッティ(DVD)
発売元/ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
©2010 GNDHDDTW 4,700円(税抜)

ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、
行きつけのスポットや思い出の冊子。
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。

笹倉剛
感性を磨く「読み聞かせ」—子どもが変わり学級が変わる
北大路書房



もり たつ や
森達也さん
学校教育学部
幼年教育系コース4年

本書は「読み聞かせは幼児に
対して行うもの」という先入観
を壊してくれます。実践例が
多く紹介されており、驚くべき
ことにそのほとんどが小学校
での事例です。読んだその日か
ら教師力がアップするかもしれ
ません。

**読み聞かせが子どもの成長に
いかに大切かが分かります**

きの した ゆ り
木下柚里さん
学校教育学部
生活・健康系コース3年



Live & Bar「Fuzzy」
加東市藤田944-61 ☎0795-42-0600
19:00~24:00 火曜休
<http://www.facebook.com/fuzzy.music.kato>

加 東キャンパスと杜高校
のちょうど中間辺り、
学園道路沿いの屋台村にあ
るカフェバーです。カレーライ
スやタコライスが人気で、週
末の夜を中心にライブイベン
トを開催しています。
音響機材が充実しており、
本格的なライブができる飲
食店として、加東市内では貴
重な存在です。フェイスブッ
クでイベントや出演アर्टイ
ストなどを紹介しているので、
チェックされてはいかがでしょ
うか。

**音楽好きが集う
学園道路で一番熱い店です**

BOOK

SPOT

兵教生のボランティア活動 in 県立やしろの森公園(加東市)

うれしの
交差点

兵庫教育大学と地域の交流ページ

↓田中さん(右)と福岡麻衣さん(学部2年)。相談員に活動できる時間帯やマイカーの有無などを伝えると、条件に合ったボランティアを探してくれる

↓自然観察が好きという矢田部恵美さん(学部1年)は興味津々でチラシを見る



多くの学生がボラステから
ボランティアデビューを果たす

昨 年4月に加東キャンパスの学生会館3階にオープンした「ボランティアアステーション(ボラステ)」は、ボランティア活動に関する情報の発信拠点だ。ス

クールサポーターや地域のイベントスタッフなど多彩な募集チラシが掲示板を埋め、相談コーナーには「自分でできる活動はないか」と、初めてのボランティアに意欲を見せる学生が頻繁にやってくる。

「長期にわたり子どもと関われる活動がいいのですが」と言う田中翔さん(学部2年)に、スタッフの赤松幸子さんが薦めたのは県立やしろの森公園(加東市)が主催する「里山体験教室ジュニア」のアシスタント。同教室は、小学4年生から6年生が1年を通して自然に親しむさまざまなプログラムを体験するというもの。「4月から来年3月まで毎月1回開かれます。公園の指導員の方が親切にアドバイスをしてくれるので、初めてのボ

ランティアには最適だと思います」と赤松さん。

4月26日、今年度第1回の教室には兵教生11人が集まった。兵教生が参加するようにになって8年目。「こんなに来てくれたのは初めてですね」と同公園理事で指導員の大西泰則さんが目を丸くする。

さらに、今回初めて現職教員の大学院生の名前も愛媛県の小学校教員である川上梓さん(修士課程1年)は「学校現場を離れている間、勤が鈍らないよう子どもと触れ合う機会を持つとうと思いました」と理由を語る。

この日のプログラムは園内の主なスポットを巡る「やしろの森探険」。大西さんを先頭に、一行は田んぼへと向かう。「この魚のような体に手足が生えた生きものを知っているかな」と大西さんがサンショウウオの入った容器を子どもたちに見せると、すかさず馬越浩彰さん(専門職学位課程3年)が「何



↑二木唯斗さん(修士課程1年)は仲良くなった子どもと七輪でシイタケを焼く

↑子どもたちとシイタケを採取する窪野早紀さん(学部4年)

うれしの掲示板

教材文化資料館平成26年度前期展 「第一回兵教大 自分展」

「自分(たち)を展示する」をテーマに、6個人・グループが研究や課外活動の取り組みなどを紹介。子どもが楽しめる実験装置の体験コーナーもあります。



開催期間／8月29日⑤まで

場所／教材文化資料館(附属図書館内)

開館時間／8:30～22:00、土曜・日曜・祝休日10:00～17:00

休館日／8月13日⑧～16日④

※臨時休館する場合があるので、附属図書館のホームページなどで確認してください

📍兵庫教育大学教材文化資料館 ☎0795・44・2362

公開講座の受講生を募集

📅=開講日時 📍=場所 対=対象 定=定員 ¥=受講料 ☑=締め切り

アクアスポーツ&水あそび教室

サーフボードを使ったリレーや子ども用にルールを簡単にした水球など、さまざまなアクアスポーツと水あそびを楽しめます。

📅 7月26日④13:00～15:00 📍加東キャンパス(プール) 対 小学4～6年生 ※25メートル以上泳げること 定 30人 ¥ 無料(別途傷害保険料100円程度) ☑ 7月4日⑤まで(先着)

絵画制作

着衣人物と静物の2点の絵画制作を通し、材料や技法についての知識を深め、表現や創作の楽しさを味わいます。

📅 9月20日⑤、21日⑥、27日④、28日⑥10:00～16:00(昼休憩1時間含む)〈全4回〉 📍加東キャンパス(芸術棟) 対 一般 定 20人 ¥ 8,800円 ☑ 9月1日⑧まで(先着)

◎申し込み・問い合わせ

兵庫教育大学社会連携事務室

☎0795・44・2053 ☎0795・44・2320

✉office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

社会貢献活動に功績を挙げた 米田豊教授と加藤久恵准教授を表彰

兵庫教育大学の発展に多大なる貢献をしたとして、米田豊教授(写真右)と加藤久恵准教授(左)を表彰しました。

◎被表彰者

▶スクール・パートナーシップ事業を通じた社会貢献における多大な功績／米田豊教授(授業実践開発コース)、加藤久恵准教授(小学校教員養成特別コース)



↓子どもたちにタンポポの綿毛を説明する大西さん。
子どもの態度をチェックするのもアシスタントの仕事だ



「やろ、見たことないよなあ」と合いの手を入れる。「みんなの視線を大西さんに向けている時は声を掛けるようにしています」。さすが補助員歴3年目のベテランだ。

一方、初参加の学生は子どもたちの興味を引いたり、注意を促したりする言葉をなかなか発せられない。「輪から外れがちな子どもにも、どのタイミングで何と言えばいいのか難しいですね」と中瀬美稀さん(学部1年)は苦笑いを浮かべる。

子どもが帰った後の振り返り

「振り返りの時間、学生たちは今回の反省点と次回に向けての課題を語り合った。大西さんは「将来の予定演習だと思って、子どもの様子を注意深く観察し、どんどん積極的に動いてください」と言葉を送った。

ボラステには連日、学生の力を借りたいという団体等から依頼が舞い込み、新たな募集チラシが張り出される。「誰かの役に立ちたい」「成長の機会にしたい」。学生は前向きな気持ちを抱いて掲示板に目を凝らす。



↑学生たちは活動を振り返り、口々に反省点を語り合った



なか お みち たか
中尾通孝

兵庫教育大学附属小学校教諭(情報教育担当)

子どもが長時間にわたって
ネットやゲームをしていると、
保護者から相談を受けました。
学校はどう対応すればいいですか。

長

時間のネットやゲームが生活習慣となつてしまっているのが、改善には少し時間がかかるかもしれません。まず、そういう子どもの学校生活での支障を把握して

みましょう。例えば、遅刻する、授業中に居眠りをする、忘れ物が多いなどが挙げられます。学校生活を送る上で必要な睡眠や翌日の準備に充てるべき時間が、ネットやゲームに奪われているから起こるのです。人間関係がうまく築けない子どももいるかもしれません。

そんな子どもに対して、教員ができる一つ目の方法は「子どもを直接育てる」です。上手な時間の使い方を授業で子どもと一緒に考えるのです。また、教員が感じる悲しさを直接子どもに伝えたり、たまには叱つたり、少しでもできるようなつたことを褒めたりしながら自信を持って生活できるようにすることが大切です。

ただ、一時的に良くなつても、またできなくなる人が多いです。なぜなら、生活習慣がまだ改善されていないからです。そこで、大切なことは二つ目の方法「保護者と一緒に育てる」です。教員は生活習慣について直接指導ができません。子どもが困っている様子を保護者に伝え、保護者と共に改善を図ることが必要です。さらに、「ネット」というキーワードがあれば、ネット社会での過ごし方の指導もしたいものです。ネット社会は目に見えない世界です。目に見える現実に例えて指導することが分かりやすいと思います。長時間ネットをしているということは、おそらく子どもだけでやっているということでしょう。それは、多くの見知らぬ人が行き交う知らない世界に子どもが一人で置き去りにされたことと同じではないでしょうか。

学校生活で困り始めたということは、子どもにとってピンチなのですが、新しいことを学ばせるチャンスでもあります。そのような見方で一緒に成長したいと考えています。



キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

濱中准教授と加藤准教授が 学会奨励賞を受賞



濱中裕明准教授(認識形成系教育コース[自然科学教育分野(数学)])と加藤久恵准教授(小学校教員養成特別コース)が共著論文「高校における構造指向の数学的活動に関する考察」で、全国数学教育学会の平成25年度学会奨励賞を受賞。同賞は優れた研究実績を挙げた若手研究者に贈られるもので、濱中准教授は「数学から数学教育への歩み寄りを感じてきたことが実り、うれしく思います」と喜びを語った。

吉水教授が 日本地理学会賞を受賞

吉水裕也教授(授業実践開発コース)が2013年度日本地理学会賞(地理教育部門)を受賞した。同賞は、地理教育の研究または普及や発展に顕著な功績を残した個人に贈られるもの。吉水教授は「皆さまに支えていただいたおかげと感謝しております。残念ながら授賞式には出席できませんでしたが、喜びをかみしめております」とコメントした。



博士課程の瀧井さんが 不安障害学会学術大会で受賞

第6回日本不安障害学会学術大会で、全国から寄せられた演題の中から博士課程3年の瀧井美緒さんの「外傷後ストレス症状および対処行動に対する理解についての検討—トラウマ体験の有無による比較—」がポスターセッションに進む67演題の一つに選ばれ、審査の結果、若手優秀演題賞を受賞。瀧井さんは一昨年に続いて2度目の受賞となった。





兵庫教育大学の 研究者養成

学校教育や教師教育に関わる研究者の養成は、兵庫教育大学の重要な使命の一つです。従前は、研究者養成は本学の本来の役割として必ずしも明確に意識されていたわけではありませんが、結果として、大学院修士課程の現職教員の修了生の中には、教員養成大学や学部の教職課程を担当している方が相当数います。最近、教職大学院に関わっている修了生に各地で出会うことが多くなっています。また、全国各地の教育センターで学校教育や教員研修の研究に取り組んでいる方もたくさんおられます。

現在は、研究者養成を「学校教育に関する理論と実践を融合した研究(教育実践学)を推進し、優れた研究者を養成します」との表現でミッションに位置付けています。文科省と協議して作成した「ミッションの再定義」(平成25年12月公表)の中に、「連合学校教育学研究科(博士課程)では、教育実践学コンピテンシーに基づいて、新しい教員養成教育を担う優れた実践的研究者を養成する」と明記されたように、研究者養成は主に連合大学院博士課程(兵庫教育大学を基幹校として上越教育大学、岡山大学、鳴門教育大学で構成)において遂行されます。

本学博士課程の研究者養成の特色は、ミッションに明らかなように、教育実践学を推進する研究者の養成であることです。教育実践学とは、学校教育の実践事例を理論によって意味付ける、再解釈する、あるいは分析するなりして、新たな実践を創る、また創られた実践の積み重ねによって新たな理論を開発する研究です。このような教育実践学を推進する力量を身に付けた研究者は、特にこれからの日本の教師教育において有用性が高いといえます。

一昨年8月の中教審答申と、その中の当面の改善策を検討した昨年10月の協力者会議報告書が契機となって、教職大学院を中心とした大学院での教員養成教育が拡充されようとしています。大学院修了の新人教員は、高い専門性と実践の指導力を備えたより即戦力に近い人材でなければなりません。そのために、大学院のカリキュラムには、高度な専門的内容とともに、長期間の実習や初任者研修的内容が含まれる必要があります。こうしたカリキュラムの担当者は教育実践学の研究者が最適といえるでしょう。

大学院における教員養成教育は即戦力に近い新人教員の養成が目的ですので、大学教員には自ずと、高度な研究能力に加えて、学校現場の実務に通じていることが求められます。また、こうした大学教員であれば、学校教育実践上の課題解決やそのための力量形成を求めて大学院に学び直しに来る現職教員のニーズにもよりの確に答えることができるでしょう。

入学者の多くが初等・中等教育学校の教員経験者であることも、本学博士課程の特色です。彼らが実務経験の上に、研究能力を修得してこうした新しい教師教育を担うことが期待されます。もちろん、実務経験のない博士号取得者も貴重な人材であり、大学入職後に現場経験を積む仕組みもつくられる必要があります。

このような教師教育分野の大学教員像の変化が影響しているのかもしれませんが、最近とくに現職教員の博士課程受験者が増えています。今後の教師教育では教育実践学の研究者へのニーズがますます高くなると思われますので、博士課程の入学定員増を検討しているところです。

かじさつや
学長 加治佐哲也

兵庫教育大学 からの お知らせ



平成27年度 大学院学校教育研究科学生募集

27(2015)年度の入学生を8月選抜、11月選抜、2月選抜の3回に分けて募集します。

修士課程 ▶ 200人

◆人間発達教育専攻		クラス	8月選抜	11月選抜	2月選抜
教育コミュニケーションコース	昼間		7人	3人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
幼年教育コース	昼間		7人	3人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
学校心理・発達健康教育コース	昼間		10人	5人	若干人
	夜間		若干人	5人	若干人
臨床心理学コース	昼間		20人	10人	若干人
	夜間		—	10人	若干人
◆特別支援教育専攻					
障害科学コース			15人	5人	若干人
特別支援教育コーディネーターコース			8人	2人	若干人
◆教育内容・方法開発専攻					
認識形成系 教育コース	社会系教育分野	昼間	12人	5人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
	自然系教育分野(数学、理科)	昼間	12人	6人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
文化表現系 教育コース	言語系教育分野(国語、英語)	昼間	14人	6人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
	芸術系教育分野(音楽、美術)	昼間	10人	5人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
行動開発系教育コース		昼間	14人	6人	若干人
スポーツ健康系教育分野(保健体育)					
応用生活系教育分野(技術・家庭、工業、情報)		夜間	若干人	若干人	若干人

専門職学位課程(教職大学院) ▶ 100人

◆教育実践高度化専攻		クラス	8月選抜	11月選抜	2月選抜
学校経営コース	昼間		14人	6人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
授業実践開発コース	昼間		20人	10人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
生徒指導実践開発コース	昼間		14人	6人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
小学校教員養成特別コース			20人	10人	若干人

8月選抜

- ◎出願期間 7月10日⑥～18日⑥(必着)
- ◎試験日 8月16日④(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 9月5日④10:00

11月選抜

- ◎出願期間 10月9日⑥～17日⑥(必着)
- ◎試験日 11月15日④(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 11月28日④10:00

2月選抜

- ◎出願期間 27年2月5日⑥～13日⑥(必着)
- ◎試験日 27年2月28日④(筆記・口述)

◎合格者の発表 27年3月13日④10:00

※各選抜とも出願状況によっては試験日の翌日にも試験を行う場合があります

※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸ハーバーランドキャンパス(神戸市中央区)で開講します(昼間、夜間の区別がないコースは全て昼間クラスです)

◎入試課

TEL 0795-44-2067 FAX 0795-44-2069
E office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

④=問い合わせ先 ⑥=申し込み先

大学院学校教育研究科 説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談や修了生・在学生の体験談を紹介する時間も設けます。

◎開催日 ※いずれも13:30から

加東キャンパス

10月4日④

※午前中に施設見学(希望者のみ)を実施

神戸ハーバーランドキャンパス(神戸市中央区)

7月5日④、9月6日④、13日④、27年1月24日④、31日④

梅田センタービル(大阪市北区)

9月27日④、27年1月10日④

AP品川京急第2ビル(東京都港区)

9月27日④

福岡朝日ビル(福岡市博多区)

9月20日④

◎企画課

TEL 0795-44-2359 FAX 0795-44-2009

E office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp



大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学希望者を対象に電話、ファクス、メールで相談を受け付けます。

◎開設期間 ※いずれも平日のみ

8月選抜 7月7日⑥まで

11月選抜 9月5日④～29日⑥

2月選抜 27年1月5日⑥～2月2日⑥

◎企画課

TEL 0795-44-2359 FAX 0795-44-2009

E office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp

平成26年度 学校教育学部 オープンキャンパス

受験生や保護者、高校の進路指導担当者などを対象に開催します。

◎日時 7月20日④11:00～16:00(受付10:30～)

◎場所 加東キャンパス

◎入試課

TEL 0795-44-2067 FAX 0795-44-2069

E office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

編集後記

★今号の「教育最前線」は「子どもの体力低下」。ある研究によると、「幼・児童期に体力が高かった子どもは成人してから体力が高い傾向にある」とされています。つまり、「子どもの時の体力は一生のからだをつくる」ということです。子どもの運動への関心は、保護者の関わり方によって変わるようです。ご家庭で豊かなスポーツライフを築ききっかけになれば幸いです。(つ)★「データで見る兵教生」では「親友」を取り上げました。学部生は寄宿舎や課外活動の仲間、大学院生は研究室の仲間が上位を占めました。両者のライフスタイルの差がここにも表れています。(や)
※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページでご覧ください

◎あなたの声を聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりを目指しています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方にオリジナルのボールペンまたは付箋紙を進呈します。

●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学 大学広報室
TEL 0795-44-2431
FAX 0795-44-2009
E office-koho@hyogo-u.ac.jp

June, 2014
vol.35



第35号 2014年6月発行
発行/国立大学法人 兵庫教育大学 大学広報室
http://www.hyogo-u.ac.jp
編集協力/㈱神戸新聞総合印刷

兵庫教育大学モバイルサイト



スマートフォン



携帯電話

この印刷物は再生紙を使用しています。